

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 2年 3月 9日

事業所名 いろ縁びつ にじいろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員おおむね10名と指導訓練室のスペースが児童1名に当たり2.47㎡と県の基準を超えており、適切で	
	2	職員の配置数は適切である	○		常時4~7名の職員を配置。中高教諭、強度行動障害支援者、保育士等常駐	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	マットで対応、段差をなくしている。	出来る事はやっているが、まだやれる事はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	縁グループのホームページで対応。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後対応。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年一回以上研修に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に個別支援の計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		発達検査を行った方に結果を教えて頂いている。今後事業所内でもアセスメントツールの利用を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			意見交換を行い、十分に検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1回クッキング、お楽しみ外出を計画し、様々な支援計画を取り込んでい	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		日案を決め対応	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ホワイトボードに一日の流れを記入して見える化をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	朝礼等で伝える。	終礼が出来ていない為難しい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		最低でも月一職員会議を開くようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者と面談したり職員間でケース会議を行い、内容の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 2年 3月 9日

事業所名 いろ縁びつ にじいろ

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校の月ごとの行事予定等や保護者様との連絡帳、又は電話などで連絡を取り合っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	公園、施設に出かけている。	交流する機会が作りづらい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	市内の放課後デイの会議を積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時の申し送りや連絡帳に特記事項を記載する。家庭や学校での様子を事業所での活動の様子の情報の共有を行っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	報告書として職員に共有している。		
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	送迎時に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母会や保護者会が無い為難しい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 2年 3月 9日

事業所名 いろ縁びつ にじいろ

等	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報等の重要なものは、鍵付きのロッカーに保管している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	利用児や保護者が受け止めやすいよう、伝え方に配慮を行い、送迎時での直接的な申し送りが難しい状況時には電話などで伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今後地域でのイベントを伝達していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		細かいマニュアルを準備した方がいい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年三回事業所で行う他、外出で防災センターへ行き、体験を踏まえた訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギー表を作成し見える所に掲示している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットを記録し、検討会議を行っている。	